



ブラウンバックセミナー  
**Brown Bag Seminar**

(水)  
**2021.6.2**

日  
同時通訳  
英

オンライン  
(Zoom)  
技術支援  
九州大学 Q-AOS & TEMDEC  
録画期間限定公開

**12:10** 12:10-12:15 紹介  
**12:50** 12:15-12:40 プレゼン  
12:40-12:50 質疑応答

**グローバル・パートナーシップのための都市のグローバル化：  
福岡市の国際化・脱国境化・地域化・地方化**

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

SDGs17 は、国際社会が他の 16 の目標を実施・実現するための手段（資金・技術援助、貿易、国際協力、組織的能力構築）を強化するための「グローバル・パートナーシップ」を中心に据えています。特に重要なのは、マルチステークホルダー・パートナーシップ（共通目標達成のために、あらゆる立場の人間や団体、専門家が意見や能力を出し合い、リスクや責任、利益などを共有して活動する制度）であり、官民や市民社会の連携を効果的に推進する必要があることを示しています。この点では、都市のグローバル化も同様に重要な取り組みです。世界の人口のうち、都市に住む人の割合は 55%で、2050 年には 70%に達すると予測されています。また、海外からの移住者は 3 億人近くにのぼり、先進国の都市人口増加の約 3 分の 1 を占めています。グローバル化が進むにつれ、都市は運営や影響力の国際的な統合に向かっていきます。都市は、多民族、多文化、多言語といった高度に異質な空間へと徐々に変化しています。このような状況を踏まえ、本発表では、都市のグローバル化と多文化共生のケーススタディとして、福岡市を取り上げます。



**大賀 哲** 准教授

九州大学 法学研究院  
政治学部門 政治動態分析講座 国際政治学

九州大学大学院法学研究院・准教授。専門は国際政治学。オックスフォード大学セント・アントニーズ・カレッジ、ケンブリッジ大学アジア中東学部、コロンビア大学人権研究所などで在外研究を行う。主著は『東アジアにおける国家と市民社会』（柏書房）、『北東アジアの市民社会』（国際書院、編著）、『共生社会の再構築』（法律文化社、編著、全 4 巻）。国際関係、東アジア地域主義、日本の自治体における国際化・多文化共生政策に関する研究を行っている。

「都市」 「グローバル化」 「官民連携」  
**Key Words** 「多文化共生」 「市民社会」



登録はこちらから  
[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_C87Mx7WHRKG8\\_PldM5XV0g](https://zoom.us/webinar/register/WN_C87Mx7WHRKG8_PldM5XV0g)